

新エネルギー対策の推進

平成19年3月26日
環境省

環境省における新エネルギー導入促進の取組

○技術開発・実証、起業支援によるバイオエタノールの利用促進

沖縄や大阪において、E3(バイオエタノール3%混合ガソリン)の地産地消の地域モデルづくりを支援

さとうきびや廃木材からエタノールを生産し、E3として公用車等で実証

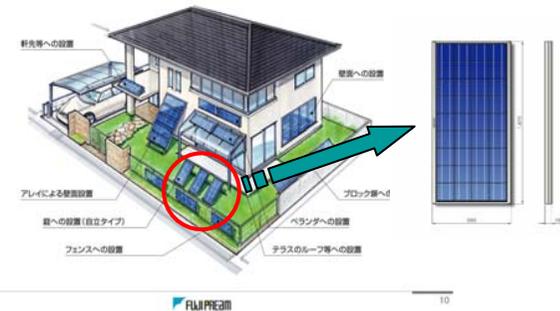


バイオ燃料による原油換算50万kL(130万t-CO2削減:目達計画目標)に貢献



○優れた製品の商品化を支援 パワコン一体型小型太陽電池パネルの開発

従来の3kW、2百万円の訪問販売商品を、120W、10万円の量販商品化(家電量販店、DIY店等で販売予定)



○自治体の率先的取組を支援

京都市の取組: 廃食用油からBDFを製造し、ゴミ収集車や市バスで利用



全国的に波及(約70自治体が導入)



○再生可能エネルギーの集中導入によるモデル地域づくりを支援

バイオマス発電と太陽光発電により地域のCO2排出量を約17%削減(高知県須崎市)



○我が国が世界をリードする太陽光発電を通じたCO2削減対策

- ・面的展開による導入促進
- ・地域に根ざした共同利用による大規模集中導入(メガワットソーラー)

